

令和5年度学校給食費無償化に関するアンケート集計結果

富士吉田市教育委員会
学校給食センター

本市では、市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減と、子育て世代を支援するため、令和元年 10 月から学校給食費無償化を実施しています。給食費無償化では、これまで保護者の皆さまにご負担いただいていた、1 人あたり年額 小学生 46,000 円、中学生 49,000 円程度、全体で約 1 億 6 千万円を、国の交付金やふるさと納税のご寄附を活用しながら、市で補助しています。

このようにして実現している給食費無償化について、保護者の皆様のご意見をお伺いし、子育て支援政策の効果や課題を把握するため、アンケートを実施しました。アンケート調査の結果について、以下のとおり報告します。

【対 象 者】

| | | |
|-----------|-----------|-------|
| 市立小学校 7 校 | 6 年生児童保護者 | 346 名 |
| 市立中学校 4 校 | 3 年生生徒保護者 | 398 名 |
| | 合 計 | 744 名 |

【実施時期】 令和5年10月2日～令和5年10月31日（保護者ℳ切）

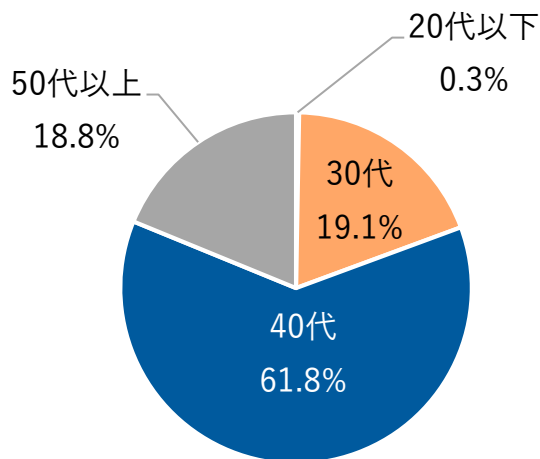
【実施方法】 各校のあいシステムを活用し、アンケート URL を送付
上記の方法が難しい場合は、紙媒体を担任教諭を通じ配布・回収

【 回 答 率 】

| | 対象者数 | 回答者数 | 回答率 | 参考：R4 年度回答 |
|--------|------|------|-------|------------|
| 小学校 計 | 346 | 321 | 92.8% | 97.0% |
| 中学校 計 | 398 | 386 | 97.0% | 89.9% |
| 小中学校 計 | 744 | 707 | 95.0% | 93.3% |

問1 回答される方の年代を教えてください。

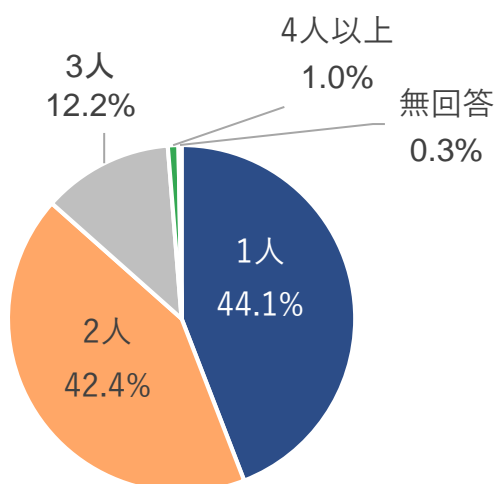
■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代以上



| | |
|-------|-------------|
| 20代以下 | 2人 / 707人 |
| 30代 | 135人 / 707人 |
| 40代 | 437人 / 707人 |
| 50代以上 | 133人 / 707人 |

問2 現在、富士吉田市立の小中学校に在籍しているお子様は何名ですか？

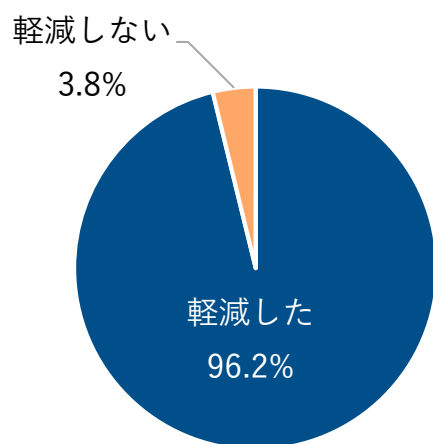
■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上



| | |
|------|-------------|
| 子供1人 | 312人 / 707人 |
| 2人 | 300人 / 707人 |
| 3人 | 86人 / 707人 |
| 4人以上 | 7人 / 707人 |
| 無回答 | 2人 / 707人 |

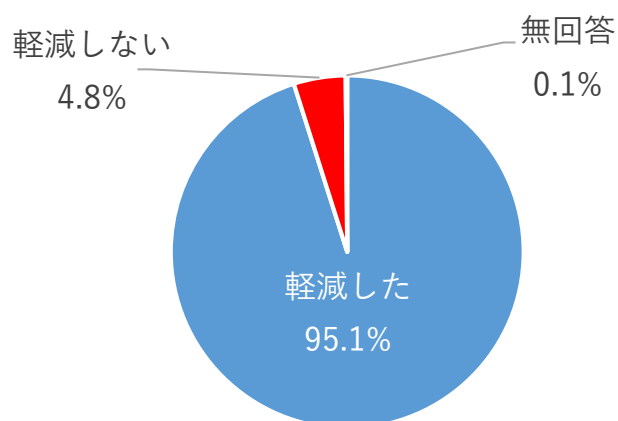
問3 給食費が無償化となったことにより、経済的負担は軽減されましたか？
また、軽減しないと回答された方は、その理由も教えてください。

■ 軽減した ■ 軽減しない



| | |
|-------|---------------|
| 軽減した | 680 人 / 707 人 |
| 軽減しない | 27 人 / 707 人 |

<参考 令和4年度回答>



| | |
|-------|---------------|
| 軽減した | 680 人 / 715 人 |
| 軽減しない | 34 人 / 715 人 |
| 無回答 | 1 人 / 715 人 |

【軽減しないと回答された方の主な理由】（抜粋）

- ・ 物価上昇により、ありがたみを感じなくなってしまった。 14 件
- ・ 他にも色々お金がかかる 5 件
- ・ 入学させた時から無料だったので、軽減の実感がない。少額のため 3 件
- ・ 給食を食べさせない選択をしているので、サポートは受けてない等、その他 3 件

問3 まとめ

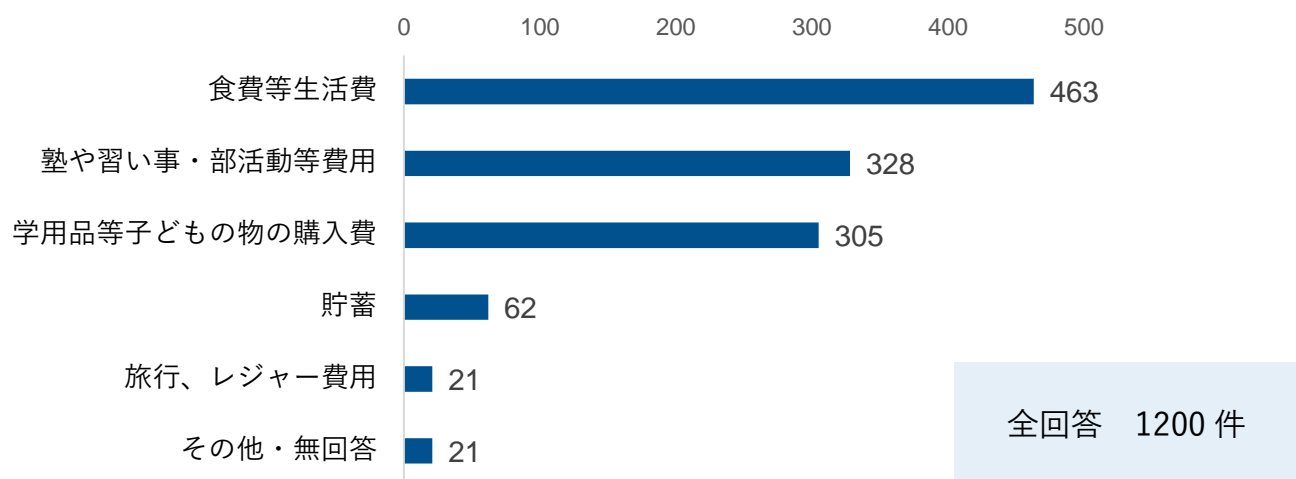
今年度、回答された方の96.2%が給食費無償化により経済的負担が軽減されたと感じており、令和3年度以降、ほぼ同じ結果となった。

(令和3年度 95.8% 令和4年度 95.1%)

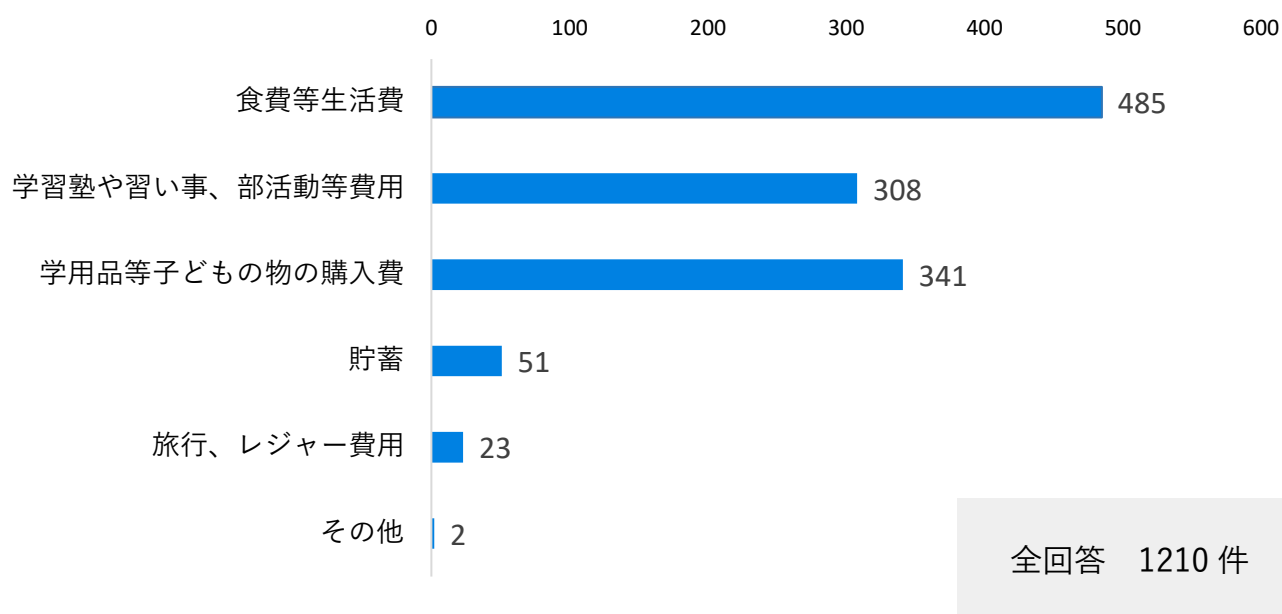
「経済的負担が軽減しない」と回答された方の主な理由では、物価高騰を原因とする理由が約半数を占めており、昨年度に引き続き、食料品や光熱水費の値上がりが各家庭に大きく影響していると思われる。

問4 給食費が無償化されたことにより、給食費に充てていた費用はどのようなものに活用できるようになりましたか？（複数回答可）

給食費に充てていた費用の活用先



参考：令和4年度回答



【その他の意見】

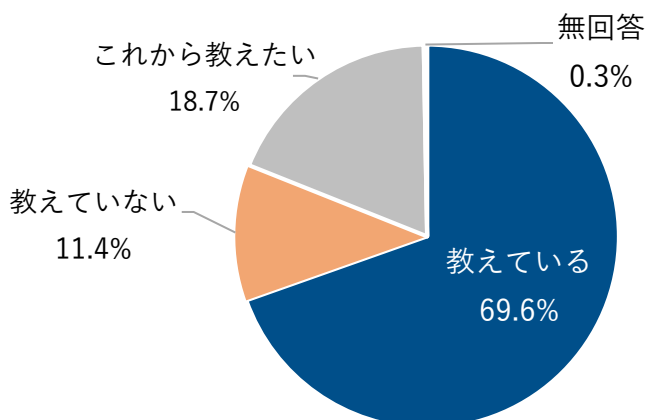
- ・ 兄弟（大学生 東京居住）の生活費の一部分、雑費。 各1件
- ・ 変わらない・わからない・実感がない 5件
- ・ 活用できていない・これといったものはない 2件

問4 まとめ

この設問についても、令和3年以降、回答の割合は同様の結果となった。
全回答のうちの約4割が食費等生活費であり、「学用品等子供の物の購入費」
「学習塾や習い事、部活等」と続いた。昨年度と比較するとこの項目の占める
割合が変わったものの、給食費に充てていた費用は、子供のために有効に使わ
れているといえる。

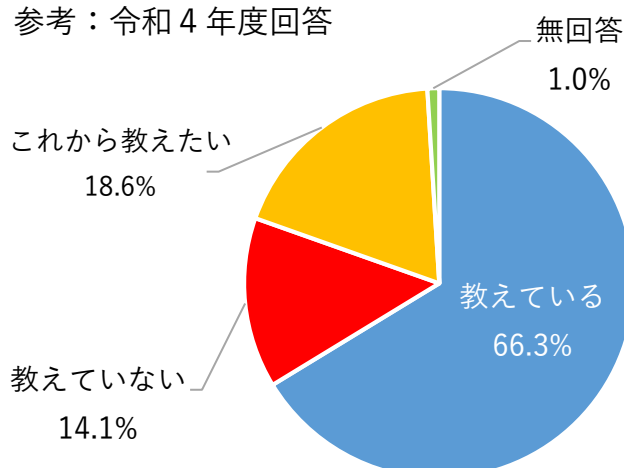
問5 お子様に学校給食費が無償化されていることを教えてくださいか？

■ 教えている ■ 教えていない ■ これから教えたい ■ 無回答



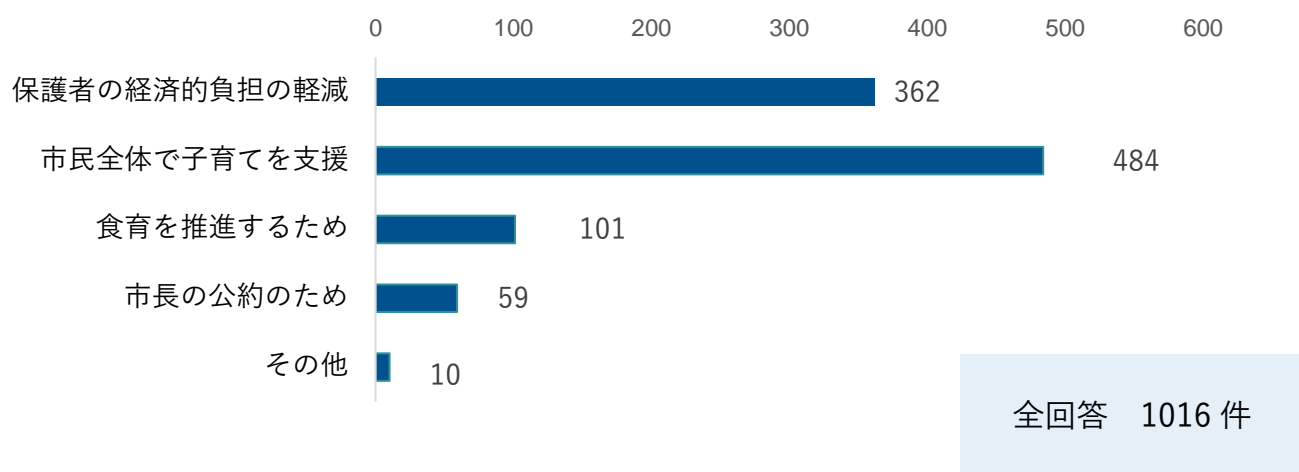
| | |
|----------|---------------|
| 教えている | 492 人 / 707 人 |
| 教えていない | 81 人 / 707 人 |
| これから教えたい | 132 人 / 707 人 |
| 無回答 | 2 人 / 707 人 |

参考：令和4年度回答

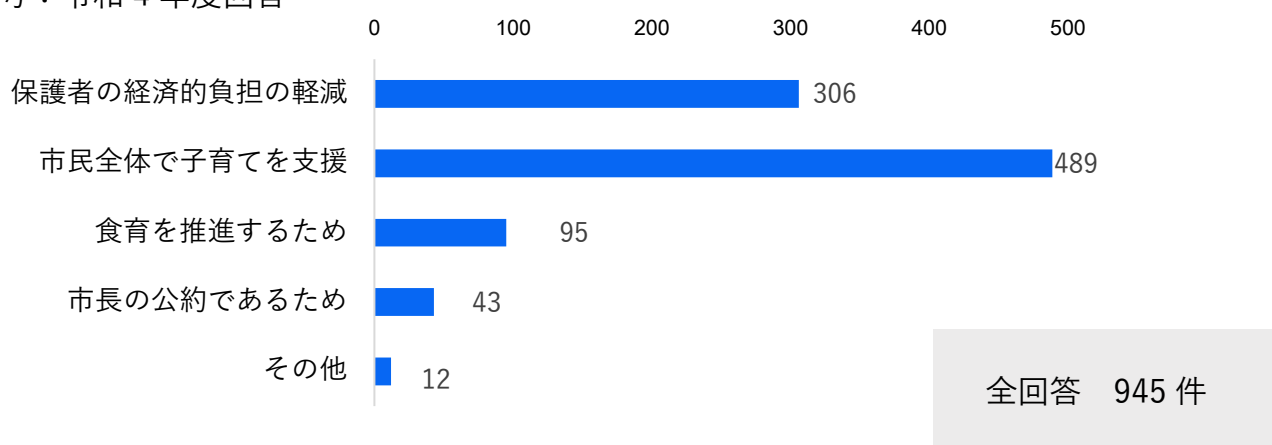


| | |
|----------|---------------|
| 教えている | 474 人 / 715 人 |
| 教えていない | 101 人 / 715 人 |
| これから教えたい | 133 人 / 715 人 |
| 無回答 | 7 人 / 715 人 |

問6 問5で「教えている」「これから教えたい」と答えた方にお尋ねします。
給食費が無償化した理由をどのように説明していますか？
または、どのように説明したいと考えますか？（複数回答可）



参考：令和4年度回答



【その他の意見】

- ・ 特に理由までは教えていない・説明していない 2 件
- ・ 富士吉田市は子育て支援が手厚い・給食費無償化で住みやすい 2 件
- ・ 皆が払っている税金が使われている 1 件
- ・ ふるさと納税でいっぱい助けてもらっている 1 件
- ・ どの公費から賄われていたか、今回知ったので、今後子供に教えたい 1 件
- ・ 教えなくても知っていた 1 件
- ・ ただより怖いものはないから、何がでてきても文句がいかない 1 件
- ・ 税金払っているから無料ではないと 1 件

問5・6 まとめ

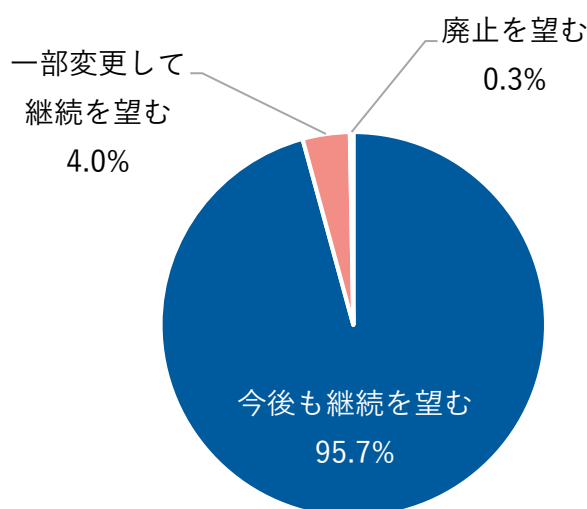
昨年度と比較すると、割合に大きな差はないが、給食費が無償化であることを「教えている」割合が「教えていない」割合に3%程度移行しており、若干ではあるが、昨年度より各家庭で「教えている」割合が増えている。

また、教えている理由の割合は、昨年度とほぼ同じ結果となり、「市民全体で子育てを支援するため」「保護者の経済的負担を軽減するため」と回答している方が大部分であった。

その他の意見の中に、このアンケートにより、「どの公費から賄われていたか今回知った」との意見もあった。給食費無償化が、地域の住民の皆さんからの市税や、全国のふるさと納税のご寄付、国の交付金（特定防衛施設周辺整備調整交付金）等を活用して実現していることを、今後は、児童生徒はもちろん、保護者の皆さまにも周知をしていく必要があることが分かった。

問7 現在、実施している給食費無償化について、あなたの考えに近いものを、次の中から1つだけお答えください。また、その理由も回答ください。

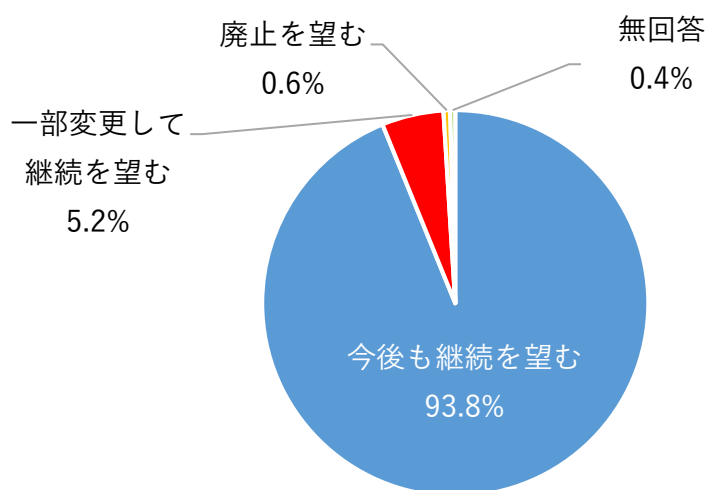
■ 今後も継続を望む ■ 一部変更して継続を望む ■ 廃止を望む ■ 無回答
(一部保護者負担を設ける)



| | |
|----------|---------------|
| 継続を望む | 677 人 / 707 人 |
| 一部変更して継続 | 28 人 / 707 人 |
| 廃止を望む | 2 人 / 707 人 |
| 無回答 | 0 人 / 707 人 |

参考：令和4年度回答

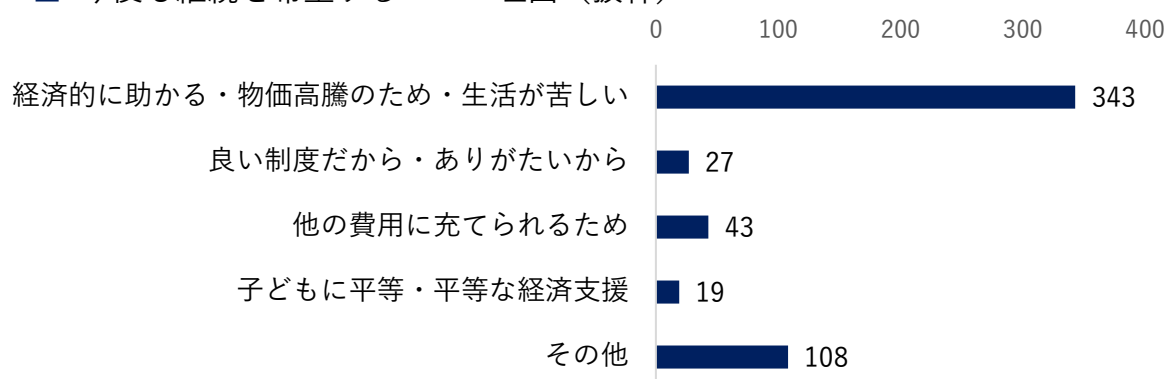
■ 今後も継続を望む ■ 一部変更して継続を望む ■ 廃止を望む ■ 無回答



| | |
|----------|---------------|
| 継続を望む | 671 人 / 715 人 |
| 一部変更して継続 | 37 人 / 715 人 |
| 廃止を望む | 4 人 / 715 人 |
| 無回答 | 3 人 / 715 人 |

【給食費無償化についての考えの理由】

■ 今後も継続を希望する 理由（抜粋）



- ・ 経済的負担が軽減される為
- ・ 物価高騰で生活にも影響が出ているので、食費の補助があると大変有り難いと思います。
- ・ 子供に関係する出費が多く生活がカツカツな部分もあるため、継続してほしいと思います。
- ・ 安月給で物価も上がっているなので、少しでも負担を軽減したいから。
- ・ 小学生一人 中学生一人で 年間約10万増えたら やっていきません。
- ・ 物価上昇率がかなり上がり生活が苦しい為

など 経済的に助かる、物価高騰のため、生活が苦しいため 計 343 件

- ・ 家計負担増に対して、全体で支援していくことはいいことで、子供が卒業しても私が支援していきたいとかんがえさせられる。
- ・ 子供達の食育になり、税金の適正な使い方だと思います。
- ・ 子育て支援として素晴らしい施策だから
- ・ 大変ありがたく、感謝しているから。
- ・ 中3なのでもう少しで給食は終わりだが、今後も続けてあげて欲しい。

など ありがたい・良い制度だと思うため

計 27 件

- ・ 無償化になったことで、その分食べ盛りの子供の食費に回していますし、部活動などの費用にも回しています。とても助かっていますので、続けて頂きたいと思っています。
- ・ 自己負担が減る分貯蓄できたり、違う子供の費用にあてられるため

など 他の費用に充てられるため

計 43 件

- ・ 特別世帯だけでなく、平等だから
- ・ 全ての子供たちが、同じように給食を食べることができるように。
- ・ すべての子どもたちが気兼ねなく、栄養のバランスのとれた給食を毎日食べることができるのは、大変ありがたいことだと思います。自分の子どもだけでなく、地域全体で子育てをするという観点からも、今後も続けてほしいと思います。

など 子ども・各家庭に平等な支援であるため 他 計 19 件

- ・ 納税の活力となる
- ・ 子供が複数いると負担は大きいので軽減してもらえると、少子化にも繋がるのではないのでしょうか
- ・ 給食費未納問題が解消されるから
- ・ 出産や子育てに対して前向きに考えられる要素の1つになり、富士吉田市の出生率に影響すると思うからです。
- ・ 安定的な給食費を確保することで地産地消を進めて欲しい。
- ・ 決めたからには、やり遂げて欲しいから
- ・ 我が家にとっては、家庭の負担金を減らしていただいていることで、それにかかっていた金額を別の項目に活用することができており、大変ありがたいため。

また、給食費を自己負担していた頃に、家庭の事情で払いきれなかったご家庭、払えるはずなのに払ってこなかったご家庭などの、子ども本人の精神的負担や、学校側の徴収を二度三度と通知せねばならないことへの精神的、業務的負担が軽減されることなどもあると思う。

など その他の意見

計 108 件

■ 一部変更して継続を望む（一部保護者負担を設ける）理由

- ・ 物価の高騰に伴い、給食の内容を変えざるを得なくなったときは、保護者の負担も必要だと思うから
- ・ 無償化になったことによって、給食の内容に制限を掛けざるを得ないように見えます。おいしい給食、楽しい給食である方が児童にとって幸せであると思うので、できる限りそれに近付き、なお保護者の負担を考えるのであれば一部負担が丁度良いラインなのかなと考えます。
- ・ 物価高騰の煽りを受けてか、最近の給食は品数が減り、質素な印象を受けます。無償化は大変ありがたいですが、値上げもやむを得ないのではと思います。

など 給食の質や量を保つためであれば一部負担も必要 計 9 件

- ・ 物価上昇などの理由により、市の財政が圧迫されるようなら、都度優先順位の見直しをしてほしいから
- ・ 財源の確保等、将来を考え一部負担も検討してもよいのではと思う。

など 市の財政を考えると 計 4 件

- ・ 収入によって変えたらいいと思います。
- ・ 全額だと、ありがたみを感じにくいです。
- ・ 子供がいる世帯はいいが、いない世帯には税金の負担がかかっている為。
- ・ 一部を学費軽減に充てても良いかと
- ・ 給食費は支払うのが普通であり、経済的に余裕があれば支払うのが当然だと思うから。

など その他の意見 計 10 件

■ 廃止を望む 理由

- ・ 食に対する価値観の低下 このご時世、無料は検討する必要があると思います。
- ・ しっかり払って質の良いものにかえてほしい。

問7 まとめ

給食費無償化について各意見の割合は、令和3年度以降ほぼ同様ではあるが、今年度継続を希望する方は全体の95.7%であり、若干の差ではあるがここ3年で1番高い結果であった。(R3年度94.0% R4年度93.8%)

継続を希望すると回答した方の理由は、前述のとおり、「経済的に助かる」「物価高騰のため」という理由が圧倒的に多く、次に「他の費用に充てられる」という理由が多い結果となった。

子育てには多くの費用がかかると認識されているということ、また、給食費無償化が保護者の経済的負担軽減に繋がっていることが分かる結果であった。

また、今年度は「子育て支援」「少子化対策」ということを理由の中で挙げている方が25件あり(R4年度16件)、給食費無償化が子育て世代への支援政策であり、富士吉田市の少子化対策に繋がっていると考え方が増えてきていると思われる。

一部変更して継続を望む・廃止を望むと回答した方については、全体の5%以下であった。回答した方の理由の多くが、「給食の質や量を確保できないのであれば止むを得ない」と考えていることが分かった。

給食の献立については、物価高騰による影響はあるものの、関係機関から情報収集し、値上がりする前に計画的に購入したり、加工品を手作りのものに変えるなど、工夫をしながら給食の質や量は確保して提供している。しかしながら、食材の質を落としたり、提供量を減らすなどをして給食費無償化を実施していると考え方も多くいることが分かった。こうした保護者の皆さまの不安を解消するためにも、成長段階に応じ、必要な熱量や栄養素を確保するよう給食の献立を作成していることや、使用している食材についても、地産地消を推進しながら、安全性を十分に確認して使用していることなど、情報をより発信していく必要がある。

昨年度、私立中学への支援についてのご意見があったが、今年度は1件もなかった。本市で実施している、市立学校以外の小中学校に通学する児童生徒への同様の補助の認識が深まったと言える。また、高校生の昼食等の支援についてもご意見が7件あり、若干ではあるが昨年度から増えた結果となった。

(R4年度 4件)